

そのカラダのお悩み

腸内フローラ検査で 解決のヒントを見つけませんか？

こんな方におすすめです



お腹の調子が悪い



痩せにくい



ストレスが多い



肌荒れしやすい



食生活が乱れがち



免疫機能の不調

腸内フローラ検査サービス

Mykinso Pro

マイキンソープロ

検査実績数

国内No.1

累計検体数

10万 件以上

マイキンソー管理栄養士による、あなたの腸内環境
に合った食事や生活改善アドバイスつき



あなたの腸内環境を
A~Eの**5段階**で判定



「腸活ご相談コール」でマイキン
ソー管理栄養士に直接検査結果や
腸活について電話相談ができます

腸内フローラについては
二次元コードから(動画)



検査結果の詳細イメージは裏ページへ

CY24-0001

検査費用 ▶ 19,800円 (税込)

国家公務員共済組合連合会

MISHUKU HOSPITAL

三宿病院

検査の流れ **自宅できんたん!**



よくあるご質問

- Q 検査でどんなことが分かりますか**
A 腸内フローラの総合判定や生活習慣病等の疾患別リスク判定、有用菌や要注意菌などの結果が分かります。菌の結果に合わせてカスタマイズされた、改善アドバイス (管理栄養士監修) もついています。
- Q 検査結果は紙ですか、webですか**
A 紙レポートです。「マイキンソーパーソナル」にご登録いただいた場合は、web上でも結果を閲覧できます。
 ※任意
- Q 検査結果や腸活の内容について相談できますか**
A 検査結果公開後は、「腸活ご相談コール」サービスにて、無料で株式会社サイキンソーの管理栄養士とマンツーマンで電話相談が可能です。※事前予約制
- Q 検査を受けられない人はいますか**
A 16歳以上の方であればどなたでも検査可能です。抗生剤服用中と服用後1ヶ月間、生理期間中、バリウムや下剤の服用直後はなるべく採便をお控えください。

検査結果レポートイメージ (一部抜粋 ※全8ページ)

腸内フローラ判定

腸内フローラバランスを5段階で評価します。

腸内フローラ(総合)判定

腸内フローラを構成する菌のバランスをもとに、A~Eの5段階で腸内環境を判定し、D、E判定の場合は、バランス崩壊(ディスバイオーシス)が疑われるため、改善が必須です。理想的な腸内環境に近づけるよう、A判定を目指しましょう。

E **判定** バランスが悪い (ディスバイオーシスの悪い)

前回: D 前々回: -

コメント
有用菌が全般的に少ないうえに、フローラです。生活習慣を改善して、再検査をおすすめします。

疾患別リスク判定

糖尿病、高血圧、大腸がんなどの腸内フローラからみた疾患リスクがわかります。

疾患別リスク判定

機能性下痢 (IBS)

😊 低 😐 中 😞 高

前回: 低 前々回: -

コメント
腸内フローラのバランスからIBS (IBS) のリスクは低いと判定され、引き寄せp.5のような生活習慣が推奨されます。

カテゴリー	検査項目	腸内フローラレベル	結果(割合)
有用菌	酪酸産生菌	フィーカリバクテリウム アナエロスティベス クロストリジウム	9.24%
	酢酸産生菌	ビフィドバクテリウム (ビフィズス菌)	1.17%
	プロピオン酸産生菌	ディアクリスター	0.00%
	エクオール産生菌	アドレムルーツシア スラキア	0.87%
	やせ菌	クリステンセネラ	0.00%

改善アドバイス

不足している有用菌の増やし方や、要注意菌の改善方法などがわかります。

個別注目菌 (有用菌)

改善ポイントトップ3

p.4の個別注目菌 (有用菌) の結果を改善するために、あなたにとって特におすすめの、具体的な改善実践方法やアドバイス上位3項目です。

- 果物の摂取**
果物には、腸内環境のエサとなる水溶性食物繊維やアルブールが含まれています。特に初を認めた果物は、改善菌が高い傾向にあります。1日1品の果物が理想的な習慣です。
- 運動**
適度な運動は、自律神経に良い影響を与え、排便に必要な腸内作りにも繋がります。マイキンソーデータでは、週に60分以上運動している人はと改善菌が安定傾向にあります。
- 牛乳・チーズの摂取**
牛乳やチーズには、腸内環境のエサとなるオリゴ糖が含まれています。マイキンソーデータでは、牛乳・チーズの摂取頻度が高いほどビフィズス菌の保有率が高い、というデータもあります。

健康長寿菌判定

健康長寿の人の腸内に多い、「ビフィズス菌(酢酸産生菌)」と「フィーカリバクテリウム」を保有していたかどうかを判定しています。*各菌の詳細結果はp.4「個別注目菌」参照

😊 2個とも豊富 😐 1個のみ不足気味 😞 2個とも不足気味

前回: 2個とも豊富 前々回: -

コメント
ビフィズス菌(酢酸産生菌)がp.4の個別注目菌の上位3項目に入っています。

有用菌/要注意菌の割合

良い働きをしている有用菌や、悪い働きをしている要注意菌の割合がわかります。

健康長寿菌判定

元気な高齢者の方に多い菌を3段階で判定します。